

2025年度第1回学校関係者評価委員会 議事録（案）

1) 日 時： 2025年10月27日（月） 13時00分～14時00分

2) 場 所： YICStudio2号館21・22教室

3) 出席者： 外部委員

- 議 長（職能団体）： 柏村 偉大 様
- 委 員（卒業生代表）： 永松 三治 様
- 委 員（企業関係者）： 突貫 光正 様

本校教職員

- 校 長： 河津 道正
- 副校長： 小田 政江
- 事務長： 日當 泰浩
- 教務課長： 青木 敏春
- 教務課長： 森野 茂弘

4) 次 第： （1）副校長あいさつ（校長不在のため）

（2）学校関係者評価委員紹介

（3）教職員紹介

（4）議長選出（柏村委員を選出）

（5）議題： 2025年度 取り組み中間報告

1. 教育課程実施状況

- （1）活動実績の概要：前期は548時間を実施し、計画通り進んでいる。
- （2）企業連携の授業：前期は2科目100時間を実施し、計画（90時間）より10時間多かった。連携先は山口県庁、山口県警察、各市役所、徳山海上保安部、自衛隊など官公庁を中心に行っている。
- （3）実務家教員担当：全時間数の約15%を実務家教員が担当している。
- （4）インターンシップ・外部実習：
 - 公務員総合学科の1年生はインターンシップを実施。
 - 2年生は官公庁の訪問見学を中心に行った。
 - 主なインターンシップ先は、山口県庁、警察本部、山口市役所、光市役所、上関市役所、周南市役所、山陽小野田市役所など。
 - インターンシップ先からの評価は概ね良好で、実施に関するトラブルもなかった。
- ご意見・ご質問：特になし。

2. 学生の状況

- （1）在籍者数：48名で、昨年の50名とほぼ横ばい。

- (2) 平均成績 (GPA) : 前期試験終了直後で算出中だが、昨年度の実績は1年生3.3、2年生3.37であり、大学の平均 (2.3~2.8) よりも高めとなっている。今年度も同様の数値で推移すると見込んでいる。
- (3) 平均出席率 : 1年生、2年生ともに概ね95%程度で推移しており、昨年度2年生が85%だった状況から大幅に改善している。
- ご意見・ご質問 : 特になし。

3. 教職員に関する活動

- (1) 教員研修 : 「授業改善サポーター要請講座」に1名、全専県の例会に1名が参加した。例会への参加は、他校の状況や授業課程の情報を得ることで、本校の授業課程への反映を目的としている。
- (2) 非常勤講師 : 現在5名の非常勤講師が担当している。
- ご意見・ご質問 : 特になし。

4. 職業実践課程にかかる中間自己点検・前期の検証

- (1) 教育課程指導 : 公務員一次試験・最終合格の結果や、学習満足度アンケートの結果から、概ね計画通りに進んでいると判断している。
- (2) 連携体制 : 就職先の官公庁の担当者から、卒業生が熱心に働いているとの報告を受けており、良好な連携が取れている。
 - 課題 : 学生が官公庁の具体的なイメージを持つため、訪問見学の重要性は認識しているものの、全ての官公庁を訪問することが難しい。
 - 今後の改善方策 : 1・2年生で連携先を考慮し、今まで訪問できていない官公庁への訪問を検討していく必要がある。
- (3) 設備 :
 - 課題 : 教室として使用しているビル (ゼスト小郡ビル) の外壁回収工事に伴い、騒音が発生し、授業に支障をきたした。
 - 改善策 : ビル管理会社に相談した結果、午前中の作業を控えるなどの配慮があり、騒音はかなり軽減された。今後も工事の進捗 (ペンキの匂いなど) を注視し、都度管理会社に伝え対応を求める。
 - ご意見 :
 - <突貫委員 (企業関係者)> : 生徒から騒音の苦情はあったか。
 - <学校側> : 生徒からは苦情があり、授業に支障をきたした。工事は12月まで続く予定であり、今後も注意が必要。

5. 関係者評価委員への提言を伺いたい事項

- 学校側からの質問 : 学生が取得した方が良い資格や、身につけておいた方が良い資質について、ご意見を伺いたい。
- ご意見 :
 - <柏村委員 (職能団体/自衛隊)> : 自衛隊という組織で動く上で、団結心と規律心が非常に重要である。また、リーダーシップも評価される資質である。
 - <長松委員 (卒業生代表)> : 多くの学生はコミュニケーションに苦手意識を持つ傾向があるため、ビジネスコミュニケーションを含むスキルを身につけておくべき。チーム内での円滑な業務遂行、自己の助けとなるためにも重要。

- <突貫委員（企業関係者）>：業務に関連する簿記やWordに加えて、市役所などで使用するAccessの知識があれば、仕事がしやすくなる。また、報連相（報告・連絡・相談）がしっかりとできる資質が重要である。
- <校長>：ビジネスコミュニケーションの中でも、特に職場内で安定したコミュニケーションが取れるよう、一般的なレベルで応対やマナーを身につけておくことは必要である。